

**吉田財団設立40周年記念事業**  
**令和7年度 特別助成金 活動報告書**

公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

助成事業の名称	未来を創造する生活産業スペシャリスト育成事業
学校名	福岡県立福島高等学校
学校長名	境 智毅
報告者	富松 美保
事業の目的	1.専門学科の教育活動の充実と地域に開かれた学校づくり 2.地域社会・産業を担う人材育成と協力・協働の精神の涵養 3.生活文化(八女茶・久留米餅・地域農産物など)の伝承と創造
実施日(期間)	令和7年6月1日～令和8年1月31日
行事・活動の内容	1. 令和7年度生活デザイン科製菓商品開発 八女商工会議所依頼地域産品の販路拡大等物産振興に関する事業協力 2. 令和7年度ふくおか教育月間記念行事衣装展示・ファッションデザイン画講座 地域ファッションショー出演 3. 令和7年度広川町NPO法人託児所「こもれびのいえ」保育交流ボランティア活動 地域中学校体験授業・地域中学校授業支援ボランティア
対象者・人数	生活デザイン科 3年1組29名・2年1組29名・1年1組39名 計97名
目標達成の状況	1.地域の農産物である八女産抹茶や和紅茶、あまおうなどを活用したオリジナル製菓の研究を行い、パティシエ青野光治先生の協力を経て、商品化に繋げることが出来た。 2.ふくおか教育月間におけるJR九州ホールの衣装展示では生徒の学習活動や授業作品の披露の貴重な機会となった。生活教養の華道のフラワーアレンジメントも展示した。 3.保育交流においては冬期休業中2日間の訪問実習を行った。子どもと遊びを通して触れ合う活動を体験し、乳幼児に対する適切な保育の重要性を理解した。
教育的効果・成果に対する所見等	1. 地域の農産物を活用したオリジナル製菓の研究・販売・配付活動を通して、地域活性化について考えを深め、新たな生活文化を創造する視点を培い、実践的に活動した。 2. ふくおか教育月間や地域ファッションショー出演では、多くの方々に興味・関心をもってもらい、県立高校専門学科の多様な取組を幅広く地域・県民に発信した。 3. 異年齢集団との交流において、地域や社会の一員としての自覚を持ち、専門学科の学びを活かして、他者と協働的に関わり、人間力の向上を図った。
3年先の姿(希望)に向けた活動計画	1.地域社会の未来を創造する生活産業のスペシャリストとなるために、社会人招聘事業やものづくりマイスター事業を活用し、専門的な知識や技術を身に付けさせる。 2.習得した知識や技術を小中学生や地域の方に伝承する体験教室や出前授業を実施し、学校や社会との繋がりの強化と社会に開かれた教育課程の実現を図る。 3. 八女茶や地域の農産物を活かした商品を地元企業や行政と連携して共同開発・販売し、地域活性化を図り、地域発展に貢献する。

経費区分	合計金額	会計報告		備考
		助成金	自己負担	
①製菓商品開発	43464円	43464円	0円	領収書No.1・No.2
②中学生体験授業	13948円	13948円	0円	領収書No.3・No.4
③福高祭取組	38532円	38532円	0円	領収書No.5・No.6
④教育月間展示	86759円	86759円	0円	領収書No.7・No.8
⑤保育交流	6796円	6796円	0円	領収書No.9
⑥デザイン画講座	49860円	49860円	0円	領収書No.10
⑦広報活動	90641円	90641円	0円	領収書No.11
合計	330000円	330000円	0円	

※ 助成金の使途については、領収書(写し可)を任意の台紙に添付して、ご報告願います。

活動状況の写真等(当日の様子など)

時期	活動写真
令和7年6～1月	<p>①生活デザイン科製菓商品開発 連携：鳥栖市ブルーシャン青野光治先生 地元農産物を活用したマカロン・フィナンシェの研究・開発・商品化の取組 8月3日(土) サザンクス筑後 中学生に商品開発菓子を展示・販売・配付</p> 
令和7年8月	<p>②8月県立高校合同説明会における体験実習(久留米餅の髪ゴム・製菓ラッピング)</p> 
令和7年8月	<p>③中学校体験授業実習 8月29日(金)筑後市立筑後中学校(製菓ラッピング)</p> 
令和7年9月10月	<p>④3年1組地域ファッションショー出演 9月広川絃祭り 10月筑後自動車学校</p> 

令和7年11月12月

⑤令和7年度地域学校協働活動事業 八女市立南中学校被服実習支援ボランティア



令和7年11月

⑥福高祭 ファッションショー (一般公開) 地域中学生・保護者

11月1日(土) 3年1組 テーマ「CANVAS (キャンバス)」



福高祭 商品開発製菓販売 (一般販売) 地域中学生・保護者・一般

11月1日(土) 商品開発製菓マカロン・フィナンシェ販売・中学生へ配付



令和7年11月

⑦令和7年度ふくおか教育月間記念行事衣装展示 3年1組「ファッション造形」

11月8日(土) JR九州ホール授業作品展示 (JR博多シティ9階)



令和7年11月

⑧令和7年度八女商工会議所産業交流センター依頼

地域製品の販路拡大等物産振興に関する事業協力

「茶そばの試食・評価・メニュー開発」3年1組フードデザインコース

茶そばを活用した調理の提案・調理実習レポートの提出



令和7年12月

⑨広川町NPO法人託児所「こもれびのいえ」保育交流ボランティア活動

家庭総合1年1組ヒューマンサービス選択生徒・希望生徒17名 遊び・食事介助



令和8年1月

⑩ファッション造形基礎「デザイン画講座」生活デザイン科1年1組39名

講師 香蘭ファッション専門学校 大古場 真由美様 デザイン画の基礎技術習得



#### 今後の活動見通し・課題

製菓の商品開発は、これまでは単年度の取組として終えていたが、地元農家や企業、製菓店の協力を得ながら、商品を改良し継続して取り組み、八女市特産品のPRの一助となるように活動していく。また、中学校体験授業や授業支援ボランティア活動においては、中学生が興味・関心を持って取り組むことが出来る題材を選定し、高校生が学びを活かした専門性の高い体験授業を行った。中学生との関わりを通して、生徒達が自己有用感の高まりや地域貢献の喜びを感じる事が出来るように今後も継続して行いたい。ファッションショーや衣装展示活動においては、非常勤講師の先生方の指導や専門学校講師における技術指導をいただいているおかげで、実現が可能なものとなっている。課題としては、教師自身が知識や技術の向上を図るために、より一層の経験と研修を積む必要がある。NPO法人託児所「こもれびのいえ」の保育交流においては、18年目を迎える。地域に貢献することで生徒達の視野が広がり、社会性やコミュニケーション力が培われている。専門学科で習得した知識や技術が地域の人々の役に立っているという喜びとものづくりの良さを実感させることを通して、将来の進路選択に役立てていきたい。

今後は、食やファッション・保育などを担っていく専門学科高校の生徒として、必要な知識・技術をどのように育んでいくことが出来るのかを課題とし、「社会に開かれた教育課程」の実現とカリキュラムマネジメントの実践を目指し、さらに魅力ある学科となるように発展的な取組を行っていく。

吉田財団設立40周年記念事業特別助成金を活用させていただき、多岐にわたる活動を行い、学科の生徒達において十分な教育的成果が得られたことに心から感謝申し上げます。また、本校の特色ある活動として地域や中学校に幅広く発信し、充実した広報活動を行うことが出来ました。今後も地域に根差し、信頼される学科を目指して、人材の育成と地域社会への新たな貢献に取り組んで参ります。改めて、吉田学術振興会に関わる全ての皆様に重ねて御礼申し上げます。